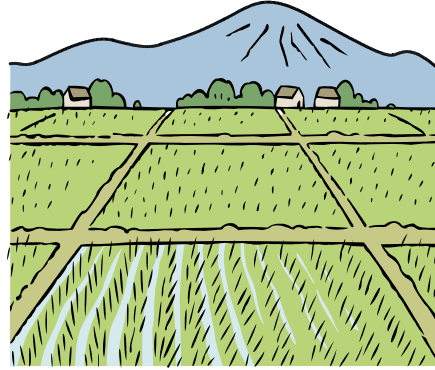


長谷小だより

- 6月号 -
平成25年6月14日 発行
神河町立長谷小学校

例年より10日ほど早く梅雨入りしましたが、その後はほとんど雨が降らず、真夏のような天気が続いています。

6月もはや半ばとなりました。6月のことを別名『水無月(みなづき)』と呼びます。“水無月”の由来には諸説があり、文字通り、「梅雨が明けて水が涸れてなくなる月である」と解釈されることが多いようですが、逆に、「田植えが終わって田に水を張る必要のある月『水張月(みずはりづき)』または『水月(みなづき)』である」とする説も有力なようです。他には「田植えという大仕事をやり終えた月『皆仕尽(みなしつき)』である」という説もありますが、個人的には、「水無月の“な(無)”は“の”の意味の助詞で、『田植えをするために田に水を引く月(水の月)』であり、“無”は単なる当て字にすぎない」という説が水無月の由来ではないかと考えています。



四泊五日の共同生活

5月27日から5日間、いえしま自然体験センターで、神河町連合小学校自然学校が行われました。



“ふれあい深めよう！人・自然”をスローガンに、町内5年生102名が参加しました。長谷小の7名も、目標を「友だちを10人以上つくる」、「班長の役割をしっかり果たす」、「魚を5匹以上釣る」、「魚を10匹以上釣る」と宣言して元気よく出発しました。雨と強風で魚釣りができなかった班もありましたが、キャンプファイヤーは日時を変更して実施することができました。出発前の目標は…、『自然学校に行ってきました会(6/7)』での報告によると、釣れた魚の数が少し少なかった人もいましたが、7人とも達成することができたようです。

来年の自然学校は、7月14日から、朝来市の県立南但馬自然学校で行われます。



親子で体験しました

13日、NPO法人生涯学習サポート兵庫・菅野将志先生を招いて、親子防災・減災セミナーを行いました。被災地支援活動の写真を見ながらお話を聞き、必要な防災グッズを考え、防災食の試食を行いました。『備えあれば憂いなし』といいます。災害には遭わないのが良いに決まっていますが、日頃から家族で防災・減災について考えることが、“いざというとき”に自分や大切な人たちの命を守ることにつながると信じています。



いろんなことにがんばっています

5月25日、神崎郡陸上競技記録会が神崎小学校で行われました。対象の3年生以上に参加を呼びかけたところ、なんと14名もの希望者が！そのうち、100m走に14名、走り幅跳びに3名が出場しました。残念ながら、表彰状をもらった人はいませんでしたが、全員、一生懸命競技できていました。第2回は10月に行われますが、今回参加できなかった人も次回は参加できればいいですね。もちろん、今回参加した人は記録を伸ばしましょう！ちなみに、9月には神河町陸上記録会が行われますが、この記録会は、1年生も2年生も参加できるようですよ。

先月末から砥峰太鼓の練習が始まりました。7日、25分間でしたが、毎年作曲や指導をお願いしている塚本利郎先生に教えていただきました。『なかなか上手ですね』と誉めていただきました。塚本先生には、今後、今年の曲作りと2回の指導をしていただく予定です。

お知らせ

『長谷小ホームページ』→『長谷小学校トピックス』にも、子どもたちの学校での様子を紹介しています。PCやスマートフォン、携帯電話でご覧ください。

[6月の今後の行事予定]

15日(土) 運動場使用(～16日・神河駅北口駅前駐車場)
16日(日) 県席書コンクール(於:八千種小)
17日(月) 交通安全教室
18日(火) 着衣水泳
20日(木) 水泳(・25日・27日)

[7月前半の主な行事予定]

2日(火) 水泳(・4日・9日・11日)
12日(金) 地区別児童会
17日(木) 期末懇談会
18日(木) 校内キャンプ(～19日)
19日(金) 一学期終業式